

## ナシのナシヒメシンクイが 平年よりやや多く発生しています

### 6 月中旬・下旬の防除を確実に実施してください

#### [ 現在の状況 ]

フェロモントラップ（笠間市）への誘殺数によると、ナシヒメシンクイ越冬世代成虫の発生量は、平年よりやや多かった（図）。

6 月第 2 半旬までのフェロモントラップ（笠間市）への誘殺数推移のパターンは、ナシヒメシンクイが多発生した平成 13 年と類似している（図）。

気象予報(6 月 8 日発表)によると、向こう 1 か月の気温は平年より高いと予想されており、発生を助長する条件である。

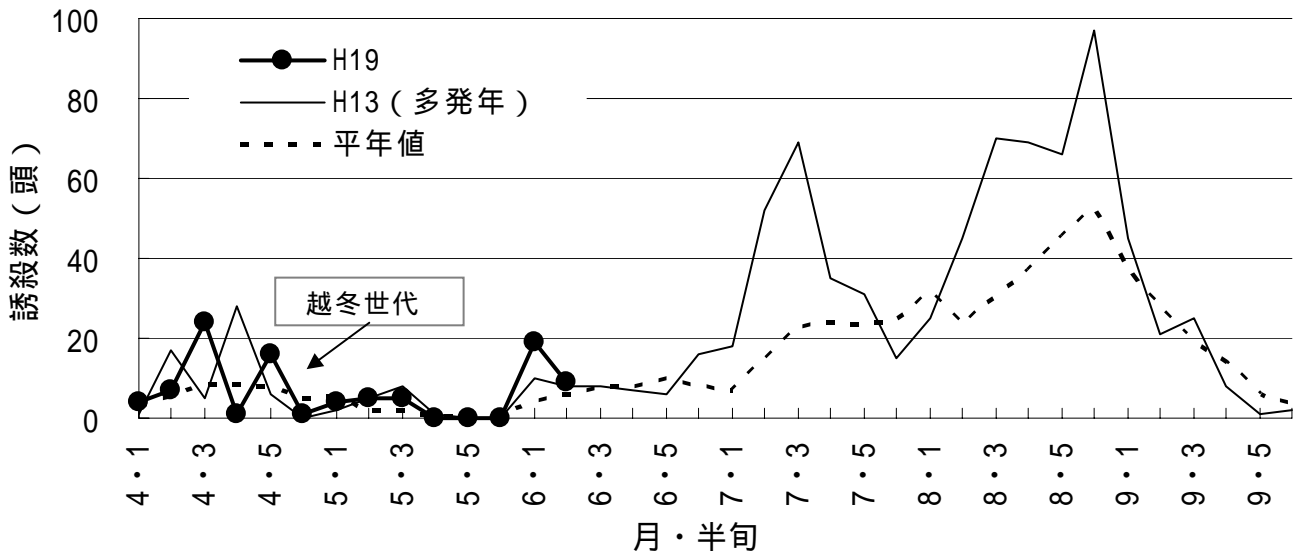


図 フェロモントラップによるナシヒメシンクイ雄成虫の発生消長（笠間市）

#### [ 防除対策 ]

例年被害が本格化するのは 7 月下旬以降であるが、収穫時期の発生と被害を防ぐためには、本虫の齢期が揃っている 6 月中に確実な防除を行うことが重要である。

次世代幼虫の防除適期は、6 月第 4 半旬頃と予想されるので、防除暦に基づき、6 月中旬のスプラサイド水和剤及び 6 月下旬のオリオン水和剤 40 による薬剤防除を確実に実施する。防除の際は、収穫前日数に十分注意する。

薬液は、10a 当たり 300 リットルを目安に十分量を散布する。なお防除は、周囲への飛散（ドリフト）に十分注意した散布方法で行う。

被害果を見つけた場合は、土中深く埋めるなど速やかに処分して、次世代による被害を防ぐ。